

村の読書活動が全国で評価されました



文部科学大臣表彰を受ける北小の松澤校長先生



第639号
 発行人 ● 豊丘村公民館 唐澤克己
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
 (5月1日現在 ※外国人を含む)
 男 3,419人
 女 3,534人
 総人口 6,953人
 世帯数 2,074戸

本を読む楽しさに気づく子らに

— 北小が読書活動推進で文部科学大臣表彰

豊丘北小学校が、本年度の「子どもの読書活動優秀実践校」に選ばれ、四月二十三日に東京で開かれた「子どもの読書活動推進フォーラム」で、見事文部科学大臣表彰を受けました。読書が生きていく上でいかに大切かをしっかりと把握し、感性が豊かに育つ過程にある生徒たちに、的確で効果的な指導を日常的に実践している点が高く評価されました。

心を弾ませ 読み浸る

北小学校長 松澤郷子

朝の読書の時間、校内を回っていくと、何とも言われないしっとりとした落ち着いた時間が流れています。廊下においてもそれぞれの本に読み浸る息づかいが聞こえてくるかのようです。

この度、読書教育活動で文部科学大臣賞という栄えある賞をいただきましたことは、本校の目標とする「学び究める子」の根幹に関わる教育が認められたこととして、全職員と共にこの受賞を喜び合いました。こ

の受賞は北小学校の教育活動への評価でもあります。その背景に豊丘村の長年にわたる誕生日図書贈呈事業や、地域の方からの読み聞かせが充実しているなど、地域としての意識の高さも後押ししていただけました。感謝いたします。

本校では日課の中に本を読む時間が位置づけ、それに加えて、一年生から六年生の担任が授業の中で自分の読んだ本を紹介し合う活動や、テーマを決めて本を選んで読み合う活動やお勧めの本を紹介するカードなど書く活動を行いました。そうした指導から児童が本のあらすじや主人公の人物に心を寄せ、心を弾ませて読み浸ることにつながりました。また図書室の改装に取り組み、児童が手に取らなくなった古い本や全集などを思い切って取り除き、全職員で良質な本・学習に必要な本・児童に是非読ませたい本を選書して棚に並べ

ました。全体のレイアウトも明るく読みたくなる『しかけ』満載の図書室に模様変えました。この他にも先生方が考えた『北小おすすめ一三〇』は圧巻でした。子どもたちに読んでほしい良質な本を先生方自身が選書し、入り口の棚に集中的に並び、借りるとカードにシールが貼られていくというものです。読書に浸る子にするためにあの手この手の手立てが尽くされています。

国立青少年教育振興機構の調査によると子どもの頃読書に親しんだ経験を持つと、大人になつてからの読書好きはもちろん、『人生への満足度が高い』『ポランティアなどで社会と関わる

も私自身もつくり地元の保育園に就職するものとはかり思っていました。施設実習でお世話になった児童養護施設「慈恵園」での実習で、園の職員同士の人間関係の良さや仕事に対する姿勢に感激し、長年の夢であった保育園勤務をあっさりとして慈恵園にお世話になることを決め、飯田に移住して参りました。

施設での仕事は、人生経験の少ない私にはすべてのことが初めての体験と勉強の連続ですが、先輩職員のかめ細やかな指導や毎日の丁寧な引継ぎの積み重ねに

意欲が高い傾向にあるそうです。読書の楽しさに気づいた子と気づかない子が大人になった時の心の持ち方の大きな違い…。今、北小ではこの受賞が一過性のものでなく「北小の子は本が好きだ」が定着するように本年度も継続した読書教育活動をしてまいります。村の図書館も新しくなり読書環境が高まる中、豊かな心を育む読書を今後大切にしたいと思えます。

地道な努力が実り、関係者もほっと一息

地域の元氣な活動を届けたい

— 村外出身の社会人二年生が編集委員に

松本市出身で社会生活二年目という初々しい女性が、編集委員に加わりました。林原の慈恵園にお勤めの古田迪子さんです。新鮮な目で村を見つめ、館報を一層魅力的なものにしてくれると思います。

実生活も充実

林原

古田迪子

今年度より館報編集委員になりました古田迪子と申します。

昨年就職し、今年で社会人二年目となりました。出身地は下伊那から約百キロ北の松本市です。その中でも山々に囲まれ四季の移り変わりが綺麗な地区でのびのびと育ちました。幼少期に楽しく充実した思い出を



たくさん作ることに出来た保育園での生活が心に残り、幼い頃から保育士になることが夢でした。高校卒業後も地元の短大に通い、家族

支えられ、子ども達の成長を見守りながら充実した毎日を送っています。昨年一年間は日常勤務を覚えるのに必死で、豊丘の館報に目を通す機会こそありませんでした。地域のみならず、まには園の行事や生活の様々な場面で関わって頂き、支えられていると感じております。文章を書くことは不得意ですが、この機会に私自身も豊丘のことをさらに深く知り、この地域の元氣な活動をみなさまにお届けできるように頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

この新谷、君原選手だけでなく、一流になる人々は、私たちには分からぬ努力を積み重ねていると思われる。さて、これを自分の問題として考えてみると、参考になることが限りなくある。たとえば、生活習慣をちよつと意識して実行すれば、わが身の健康に直結する。更に生き方にも繋がる。たとえば、テレビを見ながらでも体操はできるし、様々な視野を広げることができ。ごみ一つでも、拾うと捨てるでは、大きな差となる。自分の身の回りを振り返ってみることも、気づいたことを、たとえ些細であっても心において実行することを、新谷、君原両選手の一言から教えられた。

日本女子陸上長距離界のエースとして期待されていた新谷仁美選手が昨年引退を表明した。誠に惜しい人材だが、身体の故障では残念だが致し方ない。以前彼女が、「私が長距離選手として世界に通用するには1kmを今より一秒縮めることだ」と語っていた。1kmを一秒縮めると、一万mで一〇秒、マラソンでは四二秒少々が縮まる。ちよつと考えるとわずかと思いがちだが、実は大変な価値ある時間だ。

豊丘村交流学習センター

愛称は「ゆめあるて」に決定

公民館事務局

原 みほ子

三月末に完成した新しい社会教育施設の正式名称は『豊丘村交流学習センター』です。より皆さまに親しまれるようにと、村のホームページや公民館報などで愛称を募集いたしました。

豊丘村を知らない人はインターネット等で調べて村の特徴を愛称にしたり、建物利用方法から愛称を考えたりと、アイデアや理由が深く込められた作品が全国各地から多数寄せられました。

愛称選定委員会では、選出方法について議論に議論を重ねた結果、「新しくできる施設なので、他で使われていない名前」「将来を見据えて、若い世代や子どもたちにも永く親しまれる名前」として六つまでに絞り、村民投票で決定することになりました。

結果はご承知のとおり、一七四票のうち一〇五票を獲得し『ゆめあるて』と決まりました。『ゆめ』は夢。「あるて」は芸術を表すスペイン語。豊丘村の文化・芸術の拠点となり、多くの夢が生まれみんなに親しまれる施設となるように」と応募してくださったのは川崎市男性です。

「豊丘村交流学習センターゆめあるて」を一日も早く覚えていただき、「今日はゆめあるてへ行ってくるでな」と言ってお出かけに来てくださることを、職員一同笑顔でお待ちしております。

施設は使えば使うほど輝きを増し

「ゆめあるて」のご利用については福祉センターとほぼ同じです。利用時間は朝八時三十分～夜九時五十分まで。完全に休館となるのは毎週水曜日の夜間です。



調理室 — 清潔感が溢れ、料理の意欲が湧きます



和室 — 日本的情緒が溢れ、心が和みます

ご利用いただいた部屋は必ずモップ掛けをしてお帰ります。

ください。外構工事が終了するまでは、玄関でスリッパに履き替えていただきます。また、工事期間中足元が大変危ないので、夜間ご利用の方は懐中電灯などをご持参ください。多くの皆様のご利用をお待ちしております。

援助要する家庭や子どもを支援

慈恵園に児童家庭支援センター設置

子を持つ皆様のお役に立ちたい

慈恵園長

貝原 豪

平成二十六年四月一日より長野県から指定を受けて、県内第一号の児童家庭支援センターが児童養護施設慈恵園に併設されました。児童家庭センターは一九九八年児童福祉法の改正に伴い、児童福祉施設に設置された相談援助事業を展開

する施設です。児童虐待や不登校、発達障がい児等に対するケアなど、専門的援助が必要な子どもや家庭に対し、早期に支援する専門機関です。子育て中はうまくいかないこと、心配なこと、イライラしてしまうことなどいろいろあります。またお子様の成長について、他のお子さんとの違いにあせったり、不安になることもあり

ます。また、家庭内のトラブルなどがあるお子育ても楽しくありません。そんな時は是非ご相談ください。専門の相談支援員や心理担当者がお話を聞き、一緒に考えてまいります。お話を聞きまして、ご希望があれば専門機関へのご紹介もできます。お気軽にお電話ください。番号は三五二八〇八〇で、電話相談は二十四時間、無料でお受けしています。そして相談内容など、個人のプライバシーに關しては、固く守られますのでご安心ください。下伊那子ども家庭支援センター「こっこ」では、相談支

援の他にも下伊那地域の子育て支援センターとの連携、支援や施設開放を行う慈恵園ほっとサロンの実施、また病気や出産、仕事や育児疲れなどでお子さんの養育が緊急に困難になった時は、豊丘村と委託契約している

施設に一時的に受け入れてもらうための調整窓口等、様々な支援をしています。子どもを持つすべての皆さまのお役に立ちたいと、スタッフ一同、一生懸命努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



下伊那子ども家庭支援センター「こっこ」

今年度も

大いにご参加を!

今年度の公民館学習会がスタートしますので、大勢の方々の参加を希望いたします。「一寸の光陰軽んずべからず」と言われます。二度とない人生は、無為に過ごすには長過ぎますが、意欲をもって学ぶためには、余りにも短いからです。

26年度公民館学習会

年間計画

回	月日	内容	講師
1	6月6日(金)	開講式 「梅雨から初夏の歌を歌いましょう」	県童謡唱歌を歌う会 清水 正則先生
2	7月10日(木)	「山梨県立 リニア見学センター」	バスハイク
3	8月22日(金)	「身近な自然を学ぼう」	堤 久先生
4	9月18日(木)	「夏から秋にかけての身体のお手入れ part2」	健康運動指導士 牧内 隆雄先生
5	10月7日()	「高齢期を楽しく過ごしましょう」	小布施浄光寺 林 文映住職
6	12月3日(水)	人権「みんな仲良くいきいきと」	中学校長 丸山貢弘先生
7	1月8日(木)	「軽スポーツで脳の活性化」	南信教育事務所飯田事務所 石井 克之先生
8	2月9日(月)	落語「笑いは健康長寿の常備薬」	すわこ八福神さん
9	3月3日(火)	「楽しいお話と歌で和やかに過ごしましょう!」 閉講式～茶話会	下沢先生と 木下先生

◆ 場所 豊丘村交流学習センターゆめあるて
◆ 学習時間 午後1時20分から3時まで

お問い合わせ:公民館 35 9066 担当 原

豊田・高9チームで優勝争いを

4月28日、第44回ナイターイベント開会式

四月二十八日に役場の保健センターで、ナイターソフトボールの開会式が行われ、今年の大会がスタートしました。四十四回を数える伝統ある行事で、開催日数の長さ、参加人数の多さなど、村を代表する一大イベントです。各チームの健闘が期待されます。

前会長成沢さんに

感謝状も

ナイターソフト事務局
堀本 明一

平成二十六年度第四十四回体育協会夜間ソフト連盟主催のナイターソフト開会式が、四月二十八日に役場保健センターで開催されました。昨年行われました閉会式では、チームが存続できないと言った意見もあり、チームが減少するのではないか心配していましたが、天恵製菓さんがチームを作り参加して下さい、豊・丘リーグ合わせて十九チームの参加となりました。近年はウインドミル投手

本年は役員改選の年でもあり新役員も決まりました。そこで長い間選手、連盟会長としてご尽力いただいた成沢信夫さんに感謝状と記念品を贈り感謝の意をあらわしました。長い間大変ありがとうございました。怪我人もなくシーズンが終了することを祈ります。

- 新年度役員
- 会長 長谷川義久 (オール南)
 - 副会長 矢島 政広 (南俱樂部)
 - 事務局長 堀本 明一
 - 事務局次長 酒井 竜也 (北翔会・南市場)
 - 事務局次長 森田 昇 (豊林)
 - 会 計 壬生 浩治 (壬生沢クラブ)
 - 監 事 大澤 俊郎 (三・一クラブ)
 - 監 事 片桐 真澄 (スピリッツ)



若手からベテランまで勢揃いしました

こちら資料館 ⑭

大黒様はインドから?

福島・千駄木の高田はるみさんより、恵比寿・大黒の像とお札を寄贈していた。この大黒様は日本に伝わる前はインドのヒンドウ教の神様だったようです。マハーカラーと呼ばれる、シ

だきました。お札で一番古いものは明治十六年の年号が読み取れます。それ以前のもので、木版画の素朴な像が描かれています。新しい版を次々に重ねて飾っていったので、厚さも二十センチ以上にもなっていました。

この大黒様は日本に伝わる前はインドのヒンドウ教の神様だったようです。マハーカラーと呼ばれる、シヴァ神の化身として破壊や戦争を司っていました。マハーとは偉大なという意味を表し、カラーとは、暗黒を意味します。この神が中国に渡り「大暗黒天」と漢訳されました。密教が日本に伝えられこの「大黒」が「大黒」に通じることから、日本古来の神である大黒天と混同されてしまっ



見ていると運が向いてきそうです

ゴミのないモラルのある村に

不法投棄監視員を思っています

日本一の村に
南市場
小杉山勝彦

毎月二回、私と木下昭治さんと二人で、不法投棄監視パトロールを実施しております。パトロール範囲は、南市場の境、広域農道の壬生沢川「喬豊橋」から台城橋迄の天竜川水系です。特に河川内敷地、水門付近、各堤防そして公園と、視野の届く範囲です。目につく物は、「ティッシュ」以外は拾い、回収してきます。ティッシュだけはどうしても拾う気にはならないからです。多い時は軽トラ一杯程にもなります。特に、

東一貫水路には投棄される物が多く、下流にある水路内の格子に引掛り、専門員によって引き上げられていますが、毎回大変な事だと感じます。これからは、夏に向けそれぞれ開放的になり、アウトドアと、自然に親しむ事が多くなります。その際に出る不用品やゴミをその場に置いて去ってしまう。花火大会をやれば燃えかすをそのまま放置してしまふ。特に明神橋付近、そして各堤防等と、非常に多く見受けられます。やはり一人一人が責任を自覚して持ち帰り、ちゃんと分別して、それぞれの収集場所へ、それぞれの収集日に出して戴く事が大切かと思えます。今迄に三



不法投棄の現場写真です

四季大学春季講座

48オールスターズ

理科大を戦

四季大学春季講座が、三月二十二日と二十三日に開催され、村内のソフトボールチーム「48オールスターズ」が、強豪の東京理科大学と対戦し、両日とも善戦しました。

先生が、「豊丘村ふるさと大使」として開講されている、とよおか四季大学」の一環として計画されたものです。二日間の短い期間でしたが、風光明媚の豊丘村、高台の素晴らしいグラウンドでの二試合、そして、下平喜隆村長をはじめとする皆様との懇親会では、ほんとうに貴重な経験をさせていただきました。チームを代表して、ここに深く感謝申し上げます。

結果的に、私たちは勝利することができましたが、初回の攻防で一点のビハインドという状況からの試合展開は、今後、トーナメントを戦う上で、とてもプラスになる、貴重な経験ができたと思っております。

東京理科大学
体育局ソフトボール部
主将 後藤康宏

去る三月二十二日(土)、二十三日(日)の両日、私たち東京理科大学ソフトボール部は、「豊丘遠征」を行ない、48オールスターズと二試合のエキジビションゲームを行いました。

この企画は、当部の顧問・総監督である丸山克俊



対戦前の理科大チームと48オールスターズ

機会があれば、また、豊丘村を訪れて皆様とソフトボールを楽しみたいと思っています。皆様、ほんとうにありがとうございました。

駅伝で心をつなぐ

豊丘村チームが健闘

四月二十九日に松本市で、長野県市町村対抗駅伝競走大会が行なわれました。豊丘村チームは、県下の強豪五十四チーム中三十八位(村の部では十八チーム中九位)と健闘しました。全八区間の中、七区を走った豊丘中の小島先生に感想を寄せていただきました。

豊丘村の絆

豊丘村中教職員
小島康弘

「駅伝は、陸上競技の中でも特異なように思う。他の団体スポーツと違って、競技の最中にチームメートの顔を見ることがない。一本の襷を通じて、メンバー全員の思いと頑張りがつながっていく。そんな競技に魅了されて、長く駅伝に携わってきた。

豊丘村に赴任して二年目



1区を担った宮下真弥選手の力走

今年、市町村対抗駅伝に出場するチャンスをいただいた。光栄である。この大会は、中学生から高校生、社会人に至るまで、男女が一様に襷をつなぐ。今回走るチャンスを得た豊丘中の生徒をはじめ、たくさんの方と顔を合わせることができた。生徒の他は、初対面

の方々ばかりで緊張した。選考会では、初対面のため、ぎこちない会話をした。しかし、選考レースが終わると、お互いに笑顔で健闘を称え合った。同じ方向をめざして頑張る者同士が心を開くことができ、嬉しかった。また、職業柄、生徒と襷をつなげることも、私にとって励みになった。

大会当日、私は第七区を任された。残念ながら、大会では、豊丘村チームの襷はゴールまでつながらなかった。それでも、襷以外のところで、村の「絆」を感じた。私が走っていると、豊

丘中の生徒や他のメンバーの姿が見えたのである。その姿を見て、私は必死で走り、次走者のいない襷の渡し場を駆け抜けた。そしてさらに、疲れ果ててはいたが、アンカーが走る場所へと走っていった。そして、村の他の選手や関係者も、ゴールに集まり、お互いに

労をねぎらい合った。駅伝は、襷をつなぐ競技であるが、今回は心と心をつなぐ「絆」を感じる場にもなった。年齢も性別も関係ない、豊丘村民としての「絆」である。そんなことで、レース後の慰労会で食べた焼肉の味は格別であった。

野草採取と調理の楽しさ

6月11日に親子セミナー開催



滝川の渓谷でも野草を採取

五月十一日に、松川町在住の堤久先生のご指導で、親子セミナー「里山探索&

山菜クッキング」を開催しました。当日はのどかな晴天に恵まれ、約二十名の参加者は、天竜河畔等で野草

を採取し、それを交流学习センターで調理して試食するという企画を、心行くま

で満喫しました。私たちの周囲には、食用になる野草が溢れており、調理次第で

素晴らしいご馳走になることを、改めて実感しました。(公民館 唐澤克己)

俳句 短歌

若者の決意に涙なごり雪
今ありや梅の香迎る女坂
神坂路の熊笹泳ぐ春の蝶
百年の梁輝けり春日受け
入学の子等の瞳の輝けり
早朝に鶯鳴くも人けなし
眩しめる朝の日にむく犬ぶぐり
農に生き裏口汚す春の泥
壬生沢へ妻と配達初音聞く
ゆく路を引き潮のごと花吹雪
春夕焼要らぬ器は捨てようか
天竜川のわが身を包む春光裡
世代ごと曲は変われど卒業歌
眼細め花の香をかぐ濡れ佛

中山 寿子
磯部セツ子
田中 静
竹村 茜
片桐 洋子
三島 保子
三島 里子
木下 眞水
和地 睦夫
宮下 公
宮下 純子
丸山 時子
林 恵美子
北原 昭子

公民館短歌会

あく抜きに挑戦しますと竹の子の写メール届く都会の嫁より
松尾ヒサコ
れもん色の木香薔薇がすきという少女のころ今も秘めおり
大原眞由美
車椅子の母と眺むる百草に日ざしやはらかに今日も幸せ
筒井 恵子
老人のつどいに誘われ腰軽に作業のときを楽しみ待てり
松下 泰見
金婚を越えて六年愛などの言葉たがい忘れおるらし
富永 博道

八日会

用水路に桃の花びら散り浮きて帯の模様の如く流るる
吉沢 新子
結婚の晴れの門出を祝いつつ共白髪にと高砂飾る
松島 八重
江戸時代の蔵の屋敷が立ち並び川舟がゆく倉敷の町
紅 梅
花は散り実のなる事は確実に今日のよき日の来るのを待てり
織田大原
うごきの芽鋭き棘に守られて春一番の緑を保つ
河原 梨花

あしたは短歌会

待ちまちし庭のこぶしの咲きそめて私のコートを脱がしてくれる
毛涯百合子
卯月にて雪降る予報ききて寝る 白一面の朝の庭先
壬生 千春
水割りをグラスに注ぐ音心地よし春祭りの宵刻を忘るる
大倉 知江
五日分風邪の葉を飲みながらゆっくりすればと悪魔に甘える
北沢 秀子
目覚めよと促すごとく春の雨 白木蓮の硬き殻解く
福澤 亀人

豊丘川柳クラブ豊柳会

▼課題「試」互選
黒マグロ出刃包丁の試し切り 吉川 燎
詠み人の感性試す五七五 林 桃子
特訓の汗が試合を左右する 西元 峯子
認知度を試されもう免許証 安田 喜子
▼課題「面」互選
面立ちが段々似て来る頼もしさ 宇井恵美子
面識はあるが名前が出てこない 久保ひろし
几帳面とズボラのペアで暮らしてる 桃沢 健介
面倒を掛けて済まない妻に詫言 喜寿 喜多
▼自由吟 桃沢健介選
この桜見えていますか千の風 原 美風
失言も借金もみな個人的 福沢 勝美
春祭り獅子が舞うのに雹が降り 宮島 昭三
軸吟：ありやなしやスタッフ細胞解けぬ謎

豊丘の自然

～シリーズ～
No.127

スマレ
(スマレ科)



もしも、ここに紹介したスマレの名前が思い出せなかつたら、どうするだろうか。他人に聞く。図鑑で調べる。しかし、それらの行為すら忘れてしまっていたら。最近、認知症に関するショッキングな報道を目にした。年間、一万人近い方が認知症が原因で行方不明になっているのだと言う。そのうち、何人かは自分

の名前すら忘れてしまっているのだと。今月のスマレはスマレ。『下伊那誌「生物編」』には四十五種類が記載されている。そのうちの数種類しか識別できない今の私だ。さて、これから、すべての分類ができるように努力すべきか、このままの数種類でよしとするか迷っている。(山田 拓)



4月1日から

4月30日まで

婚姻 (届出分)

林 靖之 飯田市
稲場さやか 中平

死亡

原田 甫 松川町 北澤けさよ 88 仲晃 林原
林 みづほ 伴野原 鷹見 鈴恵 96 明 北村
三島 弘也 中 芝 柴田 桂子 79 丞 南市場
宮島美沙希 泰阜村 中平 量三 94 一 地藏道
栗澤 充史 上市場 吉山しげ子 66 秋文 中平
勝又 重紀 阿南町 三石 エツ 88 勇治 壬生沢北
死亡者 年齢 届出人 自治会
代田 健 95 貴文 中部二
東京 秋年 71 村漫 北市場三
田戸 幸子 86 葛美 北市場一